

手作りツリーで「メリークリスマス」

12月12日(水)に酒田市内の保育園児と一緒に、「松ぼっくり」や「ドングリ」等の「木の实」を使ったクリスマスツリー作りを行いました。

これは、春に園児たちとクロマツの植え付けを行ったことが縁となったもので、「木の实」を使った木工の指導を保育園から依頼され、今回は実施時期等を考慮してクリスマスツリーを作ることにしました。

園児たちは、ブナを輪切りにした台に、クリスマスツリーに見立てた「松ぼっくり」を立て、配置を考えながら、思い思いの色や大きさのビーズやモール、ドングリなどの飾り付けに挑戦しました。

クリスマスツリー作りは初めての体験で、また、ビーズやドングリなどが「松ぼっくり」や台になかなか着かず大変でしたが、園児たちは先生も驚くほど飽きることもなく集中し、約2時間かけて全員が個性豊かなクリスマスツリーを完成させました。

その後、ハヤブサ、クマ、キノコ等の写真を活用して森林の動物の生態や、それらが森林の中で共生している話を行い、園児たちは熱心に耳を傾けていました。

人間も自然界の一員であり、動植物と仲良く共存することの大切さを話して終了しましたが、園児たちからはもっとたくさん話を聞きたいなどの声がありました。

当ふれあいセンターでは、今後も森林環境教育用の教材の充実を図りながら、次代を担う子供たちへ森林の機能や大切さなどを伝える森林環境教育の推進に取り組んでいきたいと思えます。

